

告示	番号	64	悪性新生物
	疾病名	びまん性星細胞腫	

## びまん性星細胞腫

びまんせいせいさいぼうしゅ

### 概要・定義

神経膠腫（グリオーマ）は脳・脊髄の神経膠（グリア）細胞から発生し、WHO の脳腫瘍分類で低悪性度（悪性度 I・II）と高悪性度（悪性度 III・IV）に分けられる。グリア細胞のうち星細胞から発生するグリオーマが星細胞腫であり、そのうちびまん性星細胞腫は WHO 分類悪性度 II に相当する。典型的には若年成人に多く、増大は緩徐である。中枢神経のどの部分にも発生しうるが、テント上のことが多い。退形成性星細胞腫や膠芽腫といった高悪性度グリオーマに転化することがある。

### 症状

発語障害、知覚・視覚・運動機能の変化のような異常が先行することがあるが、痙攣がよく見られる主症状である。前頭葉の病変では、行動や性格の変容が見られることがある。これらの変化は、診断の数カ月前から生じることがある一方、突然消失することもある。

### 治療

一次治療は外科的切除である。腫瘍の切除が不十分な患者に対する治療選択肢としては経過観察、放射線治療、再切除、化学療法があり、個々の患者ごとに決定されるが、化学療法としては carboplatin と vincristine の併用療法などが有効とされる。認知能を最大限発達させるために、低年齢患者の放射線治療は可能な限り遅らせる必要がある。

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/1\\_6\\_71.html](http://www.shouman.jp/details/1_6_71.html)